



新人会員オリエンテーション「萌え木ホール」にて開催

総務委員 菊池美奈子

2021年6月24日、昨年と同じく小金井市市民会館「萌木ホール」にて新入会員オリエンテーションが開催された。対象は2020年9月以降の入会者と前回の欠席者合計23人で、そのうち14名と見学者1名の計15名が参加した。スタッフは25名だった。

野口支部長による開会挨拶の後、土井総務委員が『Tokyo 多摩支部のトリセツ』に沿って東京多摩支部の「概要説明」「各種手続き」「利用方法」等の説明をした。その後、石井安全対策委員が『登山計画書』の「提出の大切さ」と「作成方法」について、例年よりも時間をかけて述べた。また各委員会と同好会の紹介では、今年度から新たにPTとなった野火止保全PT、山岳古道調査PTのガイダンスもあった。

続いて行われた自己紹介では、新入会員のほとんどがすでに個人山行を楽しんでいる様子うかがえた。なかには極地探検をされたという方もおられたので、そのうち、是非、お話をお聞きしたい。

また、アンケートを見ると山スキー・雪山縦走・スノーシュー登山等冬山を希望する方が5名いる一方、無理しないで登山を楽しみたいと思っている方もいる。両者の希望に応えられるよう検討したい。

会の感想について11名の方から「良かった」という評価をいただいたが、同時に「時間内に終えて欲しかった」「長かった」「Zoomでの開催をして欲しかった」という声もあり、次回の課題とする。

アンケートから



浅野薫さん

いろいろな山に登り、登山の技術や心構えを学びたいと入会。コロナでよく分からなかった会の様子が、よく分かりました。皆様の努力で運営されていることも実感しました。できるだけ多くの山行に参加したいです。



栗城幸二さん

活動が多岐に渡ること驚いた。登山だけでなく自然保護から保全活動まで、どれも幅広く熱心に取り組んでいることを知り、新鮮でした。どうぞよろしく。



ステファノ・カリニさん

貴重な経験を聞かせていただき、ありがとうございました。コロナ禍でも安全な登山を社会的責任として推進しているのに感心しました。



支部総会を集会室と Zoom で実施



Zoom で役員と会員がディスカッション

2021年支部通常総会は、国分寺のリオンホールで開催の予定だったが、緊急事態延長の影響で、急遽、本部の集会室でオンラインのZoomを使って開催することになった。

5月16日、野口支部長、高橋副支部長、近藤（新）副支部長、佐藤幹事長、小澤幹事、植草幹事、小口監事、竹中監事の8名が集会室に集合し、午後1時30分開始。支部長が議長を担当した。

支部長挨拶では前事務局長遭難の経緯を報告し、会員が安全登山の周知徹底をはかり、コロナ禍に対して心を一つにして対応するように呼び掛けた。続けて総務委員が会員数235名で、書面による意思表示者とオンライン参加者を合わせて出席者は145名となり、会員数の2分の1以上が出席しているので総会は成立したと告げた。

植草幹事が1号議案2020年度事業報告（案）と2号議案2020年度収支決算報告（案）について説明し、佐藤幹事長が3号議案2020年度事業計画（案）と4号議案2021年度予算（案）について説明した。5号議案2021年度の役員人事（案）は野口支部長が説明した。幹事の退任は北島事務局長と植草幹事で、新任は近藤副支部長、柏木幹事、石井幹事、川瀬幹事、清水（茂）幹事、長岡幹事の6名だった。最後に5題の議案についてまとめて審議され、承認可決された。

その後、新任幹事の紹介と挨拶があった。新幹事は概して若返り、支部に新風を吹き込むことが期待される。x後半は質疑応答が約30分にわたって行われた。

富澤会員から3号議案で公益事業として行ってきた講演会が記されていない件について質問があり、小澤総務委員長が新春の集いに合わせて公益事業として企画する予定もある旨、返答した。また富澤会員から5号議案（案）の氏名に会員番号併記の希望があった。

続いて富澤会員から準会員の正会員移行者数についての質問もあった。野口支部長は本部では昨年度の数値は5割だったが、支部では半数以上が正会員になり、今後増える可能性がある旨、返答した。近藤副支部長が本部のシステムとして4月1日に自動的に正会員になり、正会員の会費の納入時点で、完了すると説明した。

小野山行委員会委員長から、山行委員会主催の山行の数が少ないという支部長の発言に対して、個人的には、個人山行が増えることが大切と思う旨、意見があった。

佐藤幹事長はアンケートの要望を取り入れることや、山行回数を増やすこと、また登山教室修了者のフォローの必要があることなど意見を述べた。また、委員会規程に「会員の山岳知識の習得と登山技術の向上」と記してあるので、山行のあり方について議論し、山行委員会内で育成の班を作ることについて議論して幹事会へあげたい旨、希望を述べた。

なお総会を効率的に運営するために、質疑応答は、事前に質問を送っておいてもらう方が良いと思われた。

（総務委員会：小澤知信、土井友子、菊地美奈子）

本部総会も Zoom で開催

副支部長 近藤雅幸

2021年度日本山岳会通常総会が6月19日午後2時からプラザFで開催された。委任状と議決権行使書提出者を合わせると総会員の64%に達し、通常総会は成立した。

古野会長が冒頭で次のように述べた。コロナ禍で去年はほとんどの行事が行われなかったために決算は情けない結果になったが、今期の後半は活発な活動が期待される。また理事、委員長、支部長は兼任ができない内規を見直し、山研委員会とユース委員会以外は兼任できるようにした。会員の平均年齢は69歳なので、理事は75歳定年とし、就任時73歳までとした。連続で就任できるのも2期までだったが、会長候補者は1任期終了後にさらに2任期できるようにした。また末永く登山を続けていくには健康と医療についてのリテラシー（正確な理解）が必要なので、講習会などを開催していきたい等々。

議案は1、2号議案（事業・決算報告）、3、4号議案（理事規約変更）はすべて承認された。



YouTube で総会の様子が見られる

質疑応答では Zoom で野口支部長が会員減少対策について「とまり木が必要と思う。同期会の現況はどうなっているのか。東京区部の支部の結成も有効なのではないか」と質問した。古野会長は「同期会は手を挙げてくれる人がいない」、坂井副会長は「区部の支部結成について、支部事業委員会や理事会でも検討したい」と回答した。

総会の様子は YouTube で見ることもできるし、詳細は会報「山」で報告される。

北島英明前事務局長 ご葬儀は故郷の徳島で

支部長 野口いづみ



ご存知のように北島英明氏は、昨年末に赤石岳から樺島へ下山中に遭難しました。12月30日に北島氏は救助要請の110番通報をし、31日夕方には3名の支部役員にメールをしましたが、それを最後に連絡を断ちました。1月5日に静岡中央署と静岡市消防局は天候不順や二次災害の恐れのため、捜索を打ち切りました。

雪も解けた5月下旬、県警ヘリがパトロール中に赤石岳で遺体を発見、30日には遺体を収容しました。検視では死因は低体温症と診断されました。翌31日にはご家族が対面し、6月4日には荼毘にふされ、翌5日には郷里の徳島で身内だけで葬儀をすまされました。数日後、奥様が電話で野口に「帰ってきてくれてよかった」とおっしゃり、また同時に「会の皆様にご心配をおかけして」とお詫びの言葉を口にされていました。

ようやくご家族もホッとされたでしょう。私たちにとっても長い5ヶ月でした。

今後、支部では報告書の作成を検討中です。できれば「偲ぶ会」を開きたいと考えています。あらためて皆様と北島氏のご冥福を祈りたいと思います。合掌



新幹事です どうぞよろしく！

近藤雅幸氏（副支部長・事務局長）

これまでの本部の理事を勤めてきた経験と、本部との繋がりを活かして精一杯職務を果たしていきたいと考えています。

山歴だけは50年以上と長いのですが、奥多摩・奥秩父・甲州の道のない山や、西上州の藪岩など好事家向けのマイナーな山ばかりを歩いてきたので、日本百名山はまだ50座も登っていません。しかし東京多摩支部選定の多摩100山はほとんど登っています。皆さんにも多摩100山をお勧めしたいです。近くにいい山がたくさんあるのですから。私も東京多摩支部の運営のお手伝いをしながら、皆さんと一緒にまた多摩100山に登ってみたいです。

また山岳古道PTのリーダーもしています。皆さんも調査に参加して、ご一緒に古道を歩きましょう。



柏木 充氏（財務委員会担当幹事）



昭和32年生まれ。学生時代に470級といわれるオリンピック種目にもなっているヨットを愛し、将来はクルーザーで世界を回ろうと思っておりましたが、社会人になり次第に海から遠ざかり、先輩たちと山遊びをしているうちに山が面白くなり、山に登りだして日本百名山登頂は北海道の旭岳を残すのみとなりました。また本部同好会のアルパインスキークラブにも所属しております。

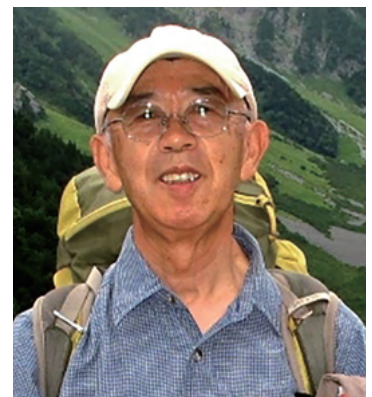
趣味は車やオートバイ。カワサキのロングストローク単気筒エンジンのエストレヤとホンダスーパーカブC90に乗り、トコトコと走っています。性格は慎重でせっかちでマイペース。また右耳が聞こえないので、失礼することもあるかもしれません。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

石井秀典氏（安全対策委員会担当幹事）

安全対策委員会、自然保護委員会、奥多摩BCの担当幹事を5年間いたしまして、2018年5月にその座をおりました。2020年5月には安全対策委員長の委員長職も退任して、これでもう肩の荷をすべておろしたつもりでいました。しかし、昨年暮れの北島氏の事故のために、再び幹事および安全対策委員長に戻ることになりました。よく知っている業務ですが、気持ちを引き締めて取り組みたいと思います。

昨年秋に長年病んでいた腰椎の手術を受けましたが順調に回復し、近々に支部の皆様との登山再開を考えています。支部活動には、まずは安全が第一です。

事故のない安全な登山を、支部会員の皆様と考えていきたいと思ひます。ご協力をよろしく！



〈自然保護委員会〉

春の長沼観察会 ー秋にも同じコースを歩きたいー

【日 時】2021年4月22日（木）

【天 候】晴れ 27℃

【行 程】京王線長沼駅 10:00 → 都立長沼公園入口 → 西尾根 → 11:07 頂上園地 → 栃本 → 住宅街 →

12:20 ~ 12:50 平山城址公園（昼食休憩） → 14:10 平山城址公園 14 → 14:35 平山城址公園駅

【参加者】12名／松田、竹中、上市、佐伯、人見、清水（6名）

自然保護委員／河野、石塚、廣田、村上、高間、小河（6名）

【記 録】

長沼駅から宅地や耕作地の間の道を5分ほど行くと、多摩丘陵の一面にある都立長沼公園の雑木林に入る。西尾根に入るとすぐに、葉の下にタマノカンアオイを見つけ歓声があがった。タマノカンアオイ（多摩の菅葵）は葉に光沢があり、葉脈がくぼんでおり、絶滅危惧種だ。道はどんどんやせ尾根のようになり、参加者の一人が「山ですね。公園というイメージではないですね」と言った。

目の前には次々と花々が現れる。チゴユリ、ホウチャクソウ、低木のコバノガマズミ、ヤマツツジの花、アオハダ、それに花は終わりかけているマルバアオダモ等々。ムラサキシキブとヤブムラサキの葉の触感の違いも確認した。高級な楊枝に使われるクロモジは花が少し残っており、香りも楽しんだ。ハンショウヅルにはワイン色の蕾がいくつかあった。やはり絶滅危惧種のキンランが黄色い綺麗な花を咲かせていた。東端の栃本尾根ではヒメハギを発見、ニオイタチツボスミレの香り確かめた。ヒメコゾウを見ながら巨大な日邸団地の方に下るとイチリンソウが見えた。平山城址



春爛漫の長沼公園

公園に入ると、ここにはギンランに白い可憐な花が咲いていた。

昼食後は満開のキンランとササバギンランを見た。ハナイカダは雌株と雄株が並んで、一つだけの花は雌花、複数の花は雄花と違いがわかった。展望広場から奥多摩の山々と富士山を展望。地味な雑草に見えるカラムシは、昔は織物の材料だが、今は福島県の会津が唯一の栽培産地という。

草本29種、木本52種、計81種を観察した。そのうち花が咲いていた草本・木本計42種。また蝶のカラスアゲハ・アオスジアゲハ・ミヤマセセリ（減少傾向にある蝶）も見られた。

廣田講師は視覚だけではなく、触覚、嗅覚を使いながら、まだ花がない樹々や草の説明もされた。「今日、名前を覚えた木にどんな花が咲き、どんな実がつくか気になるので、秋も同じコースで開催してほしい」等々、参加者はすでに秋に思いを馳せていた。

（報告／小河今朝美・高間晃子、写真／石塚嘉一）



黄色いキンランと
赤紫のハンショウヅル

〈第2期中級登山教室〉

六ツ石山 ―ペース配分を考えながら―

【日 時】2021年4月18日(日)

【天 候】晴れ

【行 程】8:33 奥多摩駅⇒8:48～9:05 水根→9:26 登山口→9:41～45 産土神社→
10:34～10:42 989mピーク→11:31～43 トオノクボ→12:19～13:10 六ツ石山→
14:10～20 林道入口→15:04～20 神社→16:13 奥多摩駅

【参加者】7名／講師：宮崎（山行L）、中村（正） 受講生：石川、長岡、中村（敦）、広瀬、渡辺

【記 録】

本来なら瑞牆山と金峰山に小屋止まりで行く予定だったが、コロナの影響で急遽、近場の六ツ石山日帰り山行に変更になった。ようやく皆で山中に泊まり、自炊する経験を積めると期待していたので少しがっかりしたが、この状況下で山に行けるありがたさを思い、気を取り直して山行に臨んだ。

水根のバス停で降車。しばらく林道を歩き、集落を過ぎて登山口に着く。中級2期の山行ではめずらしく快晴。宮崎Lから、急な登りが続くので急がずじっくりと登るようにとアドバイスをいただく。登山口からしばらくすると傾斜がきつい登山道が現れた。休憩をはさみながら焦らずじっくりと登り続ける。ペースを落とし、汗をかかないように、前回の赤城山で指導していただいた歩き方を意識して歩く。また初級登山教室で六ツ石山が予定されており、登山教室の受講生と一緒に歩くことをイメージしながら歩いた。

長い急登を終えるとコルに着き、休憩。地図ではこの先は急な登りはなく、前方に六ツ石山に続くなだらかな尾根を見ることができる。気持ちの良い尾根歩きで、ペースが上がる。進行方向にいくつものピークを見ながら、緩やかなアップダウンを繰り返す。山頂だと思ったピークを何回も通り越して、六ツ石山の山頂に辿り着く

山頂は風もほとんどなく、穏やかで気持ちが良い。昼食後、山座同定実習。周囲の山々を地図とコンパスで同定し、講師に正解を聞く。長



六ツ石山山頂にて
い時間、地図と山々を見て過ごした。山頂に50分ほどいたが、寒さを感じなかった。

下りは穏やかな尾根が続き、ペースが自然と上った。急登で時間が掛かった分を取り戻せるかとも思いながら進んだ。途中で休憩を2回挟む。開講してから一度も親睦会を開くことができていない私達は、次回の山行の打ち合わせや、どうでもよい内容の談笑をして意思疎通を図った。これからの山行に向けて、有意義な時間を過ごせたと思う。奥多摩駅に予定より少し早く到着した。

今回学んだことは、序盤は意識してじっくりとペースを落として歩く、急な登りからスタートする時は歩く速さにメリハリをつけ、体力を温存していれば、緩やかな登りまたは下りで、遅れた時間を取り戻して、コースタイム内で歩く事ができるということだった。有意義な一日だった。

(文・写真／渡辺誠)

〈第2期中級登山教室〉

飯能でクライミングとテント張り、そして豚汁

【日 時】2021年6月20日(日)

【天 候】晴れ

【参加者】11名／講師：宮崎(山行L)、中村(正)、小川

受講生：広瀬、渡辺、中村(敦)、石川、山内、長岡、松島、小澤

【記 録】

度重なる緊急事態宣言のため、なかなか本来の活動ができない中級登山教室。この週末は八ヶ岳に行くはずだったが、またもや宣言延長で中止。

それでも諦めない宮崎講師の提案で、クライミング実習に加え、テント張り実習、お昼に汁物をつくることにした。中級メンバーが飯能のモモンガを訪れるのは昨年10月に続いて二度目。今回は、特別講師に全日本マスターズクライミング選手権三位の実績をもつ小川武会員もご参加。

午前は、ロープワーク。エイトノットやクローブヒッチ(インクノット)、ムンターヒッチなど基本の復習。お昼の時間となり、バーナーと鍋を準備。皆で鍋をのぞきこみながら、豚汁の具を入れてお味噌を溶いた。一年以上活動してきたメンバーで初めて作った豚汁を味わった。実際の山行では、食事が余らないように、一人分の量を意識して計画をたてていくことも大事と学ぶ。講師の方々から「お肉が入っていて美味しかったよ」と優しいお言葉。

午後は、テント張り練習とクライミング実習。

ボードの前で全員集合



おいしそうなトン汁!



上・熱心に指導する中村講師
右・丁寧に見本を示す小川講師



6人用テントを組み立てていく。テントの中に入って、ここに6人がザックとともに入ることを想像したら、すごく狭い。快適に生活するためには、荷造りや片付けなど、もっと工夫が必要だ。

クライミング実習では、中村講師と小川講師にコツを教わりながら、ウォールを登っては、ローアダウンで降りることを繰り返した。体重移動や足の使い方に慣れず、すぐに手が疲れて途中で降りてしまった私に、「そんなんじゃない、連れていけないなあ」と中村講師のお言葉。内心焦って、次は真剣にウォールに向き合い、てっぺんまでクリア。

別のオーバーハングした壁は難しく、何人か挑戦したが、上まで行くことができなかった。その壁で、最後に小川講師の実演を見る。するすると登っていく様子はまるで歩いているように重力を感じさせない。全員圧倒されて見入ってしまい、終わった後は、思わずため息と拍手があがった。

盛りだくさんの一日で学ぶことが多かった。成果を山で活かしたい。次こそはテントと鍋と食料を大きなザックに詰めて、出発したい。

(文・写真/石川さとみ、写真/小澤知信)

〈山行委員会登山技術講習〉

両神山 —鎖が連続する八丁尾根から—

【日 時】 2021年6月26日(土)

【天 候】 曇

【参加者】 7名 / L 佐藤、SL 西山、SL 中原、清水(茂)、富永、西中、中尾

【行 程】 8:25 西武秩父駅⇒ 9:55 上落合橋⇒ 11:00 八丁峠⇒ 12:15 西岳⇒ 14:05 ~ 15:10 東岳⇒ 15:10 剣ヶ峰 15:30
→ 17:25 白井差⇒ 18:25 西武秩父駅

【記 録】

新人山行委員が対象の登山技術講習は、緊急事態宣言等の影響で約半年ぶりの開催となった。今回のテーマは岩場の歩行、長い鎖場の通過、ツェルト泊だったが台風の影響でツェルト泊は中止になり、梅雨の晴れ間をついて日帰りで八丁尾根から両神山を目指した。

西武秩父駅からタクシーで上落合橋へ。登山口から広葉樹林の急坂を登ると約1時間で八丁峠に到着。テープリングで簡易ハーネスを作り、ヘルメットをかぶり、曇天の中11時出発。いよいよ鎖場へ。目指す両神山まで30数本の鎖があると聞き、緊張しながら歩を進める。前夜に降った雨で岩や木の根が濡れている。フリクションを効かせるために靴底の泥を取ること、鎖を使って岩場を登る際は、腕力に頼らず鎖も一支点として、あくまでも足で登ること、前後のメンバーへの声かけなど、アドバイスを受けながら鎖を攻略していく。途中のナイフリッジでは恐怖で前へ進めなくなり止まってしまったが、先輩方の声に励まされなんとか通過できた。

無事に着いた両神山頂上はあいにくのガス景色だった。腹ごしらえと写真撮影を済ませて、白井差に下山した。これまでの日和田山での基礎講習や八ヶ岳の岩稜歩き講習に続く両神山で、講習を積み重ねてステップアップしていくことの大切さを実感した。(文/中尾理絵)

写真/西山さより、中原三佐代)



感想/西中智恵子◆日本山岳会に入会し初めての山行。いつかは行きたいと思っていた両神山の八丁尾根コース！



なんとか辿り着いた
両神山山頂にて



霧のナイフリッジ

八丁尾根コースの鎖場

「ここに足をかけて」「ゆっくりね～」と励ましてもらいながら、時には使ってはならない肘や膝までも使いながら一步一步登って行った。雨で濡れている岩場や2~3m程のナイフリッジ、鎖に身を預けなければ下れない場所もあった。比較的難易度の低い階段のようになっている岩場でも、後ろ向きで下山する時に体を回転させるのが怖かった。

そんなこんなでたどり着いた山頂は、いつも以上に充実感に満たされたものとなった。初めて参加した私を温かく迎えて下さった皆様に感謝の気持ちでいっぱいになった。本当に良い山行だった。

Information

山行・イベント

〈山行委 / 定例山行〉

◆平ヶ岳 (尾瀬) 8/21(土)～22(日)

体力★★ / 技術★★

プリンスルートで登山秘境。集合 / 浦佐駅 13:30、21日 / 浦佐駅(バス)=黒尾山(送迎バス)=湖山荘(泊)、22日 / 湖山荘 4:00=中ノ路登山口→玉子石→池ノ岳→平ヶ岳→中ノ路登山口=湖山荘→白銀の湯(入浴)→銀山平=浦佐駅、定員20名。歩行/7時間、申込/清水(茂)、締切8/4(水)

◆谷川岳 9/25(土)～26(日)

西黒尾根コース体力★★★★ / 技術★★★、

天神平コース体力★★ / 技術★

上信越名峰の眺望と紅葉を楽しむ。集合 / 土合の家 12:15、25日 / 土合の家→マチガ沢・一の倉沢方面散策→土合の家(泊)、26日 / 【西黒尾根コース】土合の家 05:00→西黒尾根→トマノ耳→オキノ耳→肩ノ小屋→ロープウェイ山頂駅、歩行/8時間、【天神平コース】土合の家 07:00=ロープウェイ利用で山頂往復、歩行/6時間、申込/濱野、締切9/15(水)

◆荒船山 (西上州) 10/30(土)

体力★ / 技術★★

紅葉の海に浮かぶ鱸岩へ。集合 / 上信電鉄下仁田駅 09:30、下仁田駅(タクシー)=内山峠→鉄岩修験道場跡→鱸岩→経塚山→星尾峠→荒船不動(タクシー)=下仁田駅、定員20名。歩行/4時間、申込/内藤、締切10/20(水)

◆大室山 (丹沢) 11/13(土)

体力★★★★ / 技術★★

道志山塊からの富士を眺めに。集合 / 富士急行線都留市駅 07:20、都留市駅(タクシー)=道志の湯→登山口→加入道山→前大室→大室山→(往路を戻る)→道志の湯=都留市駅、歩行/8時間50分、申込/齊藤、締切11/2(火)

◆三原山 (伊豆大島) 12/11(土)～12(日)

内★ / ★、外★★ / ★★

「いつか森になる道」を歩いて山頂へ。集合 / 11日 / 東京(竹芝)20:30・乗船22:00、12日 / 大島元町港 06:00着(バス or タクシー)=大島温泉ホテル登山口、【内周りコース】大島温泉ホテル 07:30→裏砂漠分岐→お鉢左周り→御神火茶屋、歩行/4時間強、【外周りコース】大島温泉ホテル 07:00→裏砂漠分岐→楡形山→滑台跡→592P分岐→火口展望台→お鉢左周り→御神火茶屋、歩行5時間、大島元町港解散。申込/西山、締切11/27(土)

〈連絡先〉

鬼村 邦治	onimura@jcom.zaq.ne.jp	090-1119-0644
齊藤理恵子	rie.bad.guts2804@gmail.com	090-8101-7877
清水 茂美	bunta.nanako.aitaiyo@gmail.com	090-8327-3362
副島 一義	mayu333soe@nifty.com	090-5778-7336
高砂 寿一	toshikazu001@mac.com	090-8053-3040
内藤誠之郎	siro7110@yahoo.co.jp	080-3024-7882
西山さより	okabasaku3911@gmail.com	090-9801-4146
濱野 弘基	gzc04344@gmail.com	090-3577-9696

〈山行委 / 平日山行〉

◆高尾山 8/13(金)

体力★ / 技術★★

新月の中の静かな夕涼み、蛍光ハイク。集合 / JR 高尾駅北口バス停 16:00、高尾駅(バス)=小仏バス停→小仏峠→城山→一丁平→高尾山ケーブル駅→京王高尾山口駅、歩行/4時間、申込/川島、締切8/6(金)

◆御正体山 (道志) 9/16(木)

体力★★★★ / 技術★

道志の最高峰を満喫する。集合 / 都留市駅 07:45、都留市駅(タクシー)=三輪神社→仏ヶ沢水場→鹿留分岐→御正体山→往路を戻る、歩行/8時間、申込/鬼村、締切9/9(木)

◆今倉山・二十六夜山 (道志) 10/21(木)

体力★★ / 技術★

富士の展望と紅葉の縦走路を歩く。集合 / 都留市駅 08:00、都留市駅(タクシー)=道坂隧道→峠登山口→今倉山→西岳→松山→二十六夜山→西川バス停=都留市駅、歩行/5時間、申込/高砂、締切10/10(日)

◆鐘ヶ嶽 (丹沢) 11/18(木)

体力★ / 技術★

山岳宗教の修行道場の山を体験する。集合 / 本厚木駅北口 08:45、本厚木駅→厚木バスセンター(バス)=広沢寺温泉入口バス停→鐘ヶ嶽バス停→十八丁目→浅間神社→鐘ヶ嶽→山の神トンネル入口→広沢寺温泉入口バス停(解散)、歩行/3時間、申込/鬼村、締切11/8(月)

◆筑波山 12/16(木)

体力★★ / 技術★

山岳信仰・萬葉の山・新雪体験?集合 / つくばエクスプレス駅改札 08:50、つくばエクスプレス駅 09:00(バス)=つつじヶ丘バス停→弁慶茶屋跡→女体山→男体山→男女川水源→筑波山神社(バス)=つくば駅、歩行/4時間30分、申込/高砂、締切12/6(月)



計報・・・・・・・・・・
黒木邦夫君を偲んで
・・・・・・・・・・

BC 運営委員である黒木邦夫会員 (No. 6877) が4月18日肺炎で逝去した。享年81。出会いは1965(昭和40)年春。中央大学山岳部を卒業(これが彼の口癖)、激しい岩登りがしたくて社会人山岳会へ。面接したのが私。その日から56年にわたる付き合いが始まった。彼はいつでも「先輩を立てて、お任せします」。ザイルのトップでさえも。そんな彼とは多くの山行を共にした。真冬に雨が降る谷川岳一の倉沢、風雪のなかでビバークした北鎌尾根岩稜上…。そんな話も、もう出来なくなってしまった。「トップはお任せします」と云ってたくせに、なんで今度は自分がトップになってしまったんだ!

クロちゃんの冥福を祈る。(坂本正智)

会 務 報 告

幹事会報告 (特記事項のない委員会の報告は省略。詳細は支部 HP「会議案内」を参照)

■第 130 回幹事会■

出席:野口支部長、高橋副支部長、佐藤幹事長、清水(茂)(事務局)、植草(財務)、小澤(総務)、高砂(山行)、河野(自然保護)、石井(安全対策)、中村(敦)(奥多摩 BC)、(監事)小口、竹中

欠席:岡田、村岡、北島 記録:佐藤

日時:2021年4月20日(火)18:30~20:30

会場:立川市女性総合センター 5F 第一会議室

[野口支部長挨拶] コロナが治まらず緊急事態宣言が視野に入ってきた。相応に対処されたい。

[審議事項]

(小澤、総務) 総会資料について説明した。支部総会の開催準備と運営について確認。新入会員オリエンテーション(本号 p.1) について説明。「会計委員会」は現在機能していないが、支部規約第 14 条で「会計」を配置するとされており、検討する必要がある。

[連絡事項]

(野口) 都岳連の総会は 5 月 25 日にオンラインで開催予定。

[委員会報告]

(野口、会報) 次期担当幹事は村岡、委員長は野口とする。

(高砂、山行) 「まん延防止等重点措置」により 4 月の定例・平日山行は中止。野口支部長から「定例、平日山行で参加者が 20 名を越えている。月 1 回の山行では少ない。山行を二つ企画するなどして分散できないか。山行委員が参加者の 4 割を占めている。リーダーが務まる山行委員が多数いるのだから、別の山行を企画しても出来るのではないか」との意見があり、高砂幹事はアンケートの結果も参考に検討すると回答した。

(河野、自然保護) 春の自然保護観察会を実施(本号 p.5)。

(河野、登山教室 PT) 3 月にリーダー研修会実施(44 号 p.2)。中級登山教室は 3 月赤城山(44 号 p.4)、4 月六ツ石山(本号 p.6) を実施。

(石井、安全対策) 4 月 19 日に遭難対策本部会議を開催。遭難者の搬出は 5 月以降になる可能性。支部として必要な対応をしていく。

(中村、BC 運営) 奥多摩山開きを 4 月 4 日に関係者で実施。同日の「新入会員懇親山行」参加者に登頂 50 周年記念エベレスト展などについて説明。

(石井、山岳古道 PT) 支部関連の古道 9 件(支部提案 4 件、個人提案 5 件)あり、第一次は 4 月末に各支部 1 件選定する。本部 PT は 5~6 月にパイロット調査を実施し、調査報告書の体裁、WEB デザインの素案を作成する。本部から、個人提案の古道に支部が支援してほしいとの要請がある。

[幹事](竹中) 2020 年度はコロナの影響を受け、苦勞されたと思う。新役員も加わるので、新基軸を打ち出して、更に支部が活発に活動することを期待。

■第 131 回幹事会■ (下線は新任幹事)

出席:集会室/野口、高橋、近藤副支部長、佐藤、小澤、植草、Zoom/清水(茂)(事務局)、柏木(財務)、村岡(会報)、長岡(ICT)、高砂、河野、石井(安全対策)、中村(敦)、川瀬、(監事)小口、竹中

欠席:岡田 記録:近藤

日時:2021年5月16日(日)15:15~17:10

会場:日本山岳会本部集会室 +zoom

[野口支部長挨拶] 支部総会で 1 号議案から 5 号議案までがすべて可決された。

[連絡事項]

(野口) 都岳連の総会議案と実施詳細を説明。

(小澤、総務) 新入会員オリエンテーションについて説明。花王ヘルシアからの寄付について案内。

[委員会報告]

(植草、財務) 柏木氏と幹事引継ぎ中。委員は三ツ井と人見(植草は在宅でヘルプ、中村(敦)が 12 月まで手伝い)。経費精算は人見が担当。あと 2 名位手伝いか委員が必要。

(小澤、総務) 8 月予定の BBQ パーティー担当は菊池。国分寺市の市民祭に協力依頼。新春の集いの会場を 6 月に押さえる予定で、講演会をするか検討する。支部の什器備品について確認作業中。次回総会に向けて規約改正したいので意見を出してほしい。幹事の任期は現規約では 2 年だが、任期の途中で退任について検討する必要がある。

(野口、会報) 44 号を発刊、発送。

(高砂、山行) Zoom と併用で委員会会議を行っており 5 月は 20 名が参加。アンケートは目下 23~4%の回収率。

(河野、自然保護) 雲取山石尾根登山道整備は中止。

(石井、安全対策) 石井担当幹事が委員長も代行。山の日のチラシ配布は中止。高尾警察署と五日市警察署と打ち合わせを行う予定。9 月 23 日にメディカルハイキングを予定しているが、今年度は共益事業として検討。ザンスカール遠征の中止で寄付金 23 万円を安全対策積立金に組み入れるか、今後の海外遠征実施の資金としてプールするか検討中。前事務局長の遭難事故の経過報告。

(中村、BC 運営) 賃貸借契約を更新。巡回連絡カードを、支部長が提出。5 月末まで利用中止にし、それ以降は再検討。

(河野、登山 PT) 8 期初級登山教室は 2 名増で 23 名。4 月の山の天気講習を終了。5 月の棒ノ折は中止。6 月は協議。山の医療講習は萌え木ホールで 7 月 14 日実施予定。

(河野、野火止保全 PT) シュロの伐採実施。5 月観察会中止。

(石井、山岳古道 PT) 2 月に PT を立ち上げ月 1 回定例会議を開催。10 名のメンバーで勉強会も月 1 回行っている。第 1 次調査対象古道は古甲州道と日原秩父往還と富士信仰の道になる予定。

[監事](小口) これまでの幹事会メンバーと、新しい幹事会メンバーで協力して、東京多摩支部を盛り上げていってほしい。

会 務 報 告

■第132回幹事会■

出席：野口、高橋、近藤、佐藤、清水（茂）、柏木、小澤、村岡、長岡、高砂、河野、石井、中村（敦）、川瀬、Zoom/岡田、（監事）小口、竹中 記録：近藤

日時：2021年6月15日（火）18:30～20:00

会場：立川女性総合センター + Zoom

[野口支部長挨拶] 前事務局長が発見され葬儀が行われた。各山岳団体はコロナに対し工夫して登山教室などを開催している。

[協議事項]

(石井、遭難対策本部) 前事務局長の遭難に関する報告。

(高砂、山行) アンケート回収は38%、118通。次年度の山行計画の検討材料にしたい。

[連絡事項]

(野口) 都岳連の総会で新役員が信任された。講習会（7月は野口）がZoomで企画されている。多摩支部会員は都岳連会員なので参加できる。

(近藤、事務局) 6月19日に本部通常総会が開催される（本号p.3）。HAT-Jが6月に解散。本部の新入会員オリエンテーションは9月4日。

[委員会報告]

(柏木、財務) モンベル広告料2万円が入金。

(小澤、総務) 新人オリエンテーションを開催（本号p.1）。新会員の参加申し込みは15名。「懇親BBQパーティ」を8月28日に開催予定。10月24日に国分寺市民祭りに

参加し新入会員募集と会員の懇親を行う。委員会の展示と協力を希望。新春の集いは国分寺リオンホールで開催予定。（村岡、会報）45号発行は8月上旬。原稿締切は6月末。（長岡ICT）メルマガの掲載依頼は長岡幹事と山本委員長に送ることにする。

(高砂、山行) 定例9月予定の谷川岳の担当者変更。

(河野、自然保護) アツモリソウ保護活動は中止。身近な水調査の測定調査を6月7日に実施した。8月の御岳のレンジョウマ観察会の募集記事を新聞社に依頼。

(河野、登山PT) 8期初級登山教室は7月に棒の折山予定、6月の日の出山は中止。下期は登山実習の2班を動じる開催に変更する。中級登山教室は6月にクライミング実習（本号p.6）。

(河野、野火止保全PT) 林内の道にチップを敷くためのチップパー機を、東京都から借りるために交渉中。

(石井、山岳古道PT) 本部から選定された古道は、埼玉と山梨支部との間の調整が必要。ヘルシアのモニタリングを4人が参加して実施した。

[監事] (小口) 山行委員会のアンケートはやってよかった。(竹中) 前事務局長の遭難は残念。夏山シーズンに向け、コロナ禍での体力低下に留意ください。

2021年度会費入金状況（財務委員会） (人数)

	入金者数	未入金者数	備考
4月	319	7	320（入金後退会6）
5月	236	69	305
6月	255	53	308

会費の納入期限は6月末です。未入金の方は入金をお願いします。ゆうちょ銀行 00270-4-82347

登山計画書受理・検討件数（安全対策委員会）(件数)

月	支部山行	同好会山行	個人山行	合計
4月	1	0	7	8
5月	1	0	6	7
6月	2	0	7	9
4～6月合計	4	0	20	24

会員数 4～6月（総務委員会） (人数)

	総会員	通常会員	準会員	会友
4月末日	314	235	78	1
5月末日	297	236	60	1
6月末日	293	234	58	1

「BC利用状況」は利用者がいなかったため省略しました。

会員移動 4～6月（総務委員会）

4月末日	入会	1名	川瀬恵一（14424）、柏木充（14142）、阿部雅龍（16728）、太田雄三（A0369）
	退会	1名	長田正行（6744）
	資格変更	2名	小池清次郎（16738）、山内ひとみ（16743）
5月末日	入会	3名	小菅昭彦（16719）、多田洋子（A0355）、ステファノ・カリニ（A0372）
	退会	17名	田邊卓司（4692）、黒木邦夫（6877）、市川義輝（9199）、高比良昭（10546）、三塚光一（10728）、清水義浩（11907）、大野力彌（12099）、茂出木協子（12863）、浦邊充（13838）、小泉賢（14727）、比留間祐也（A0070）、中原久枝（A0096）、丸尾尚子（A0129）、馬場久子（A0164）、海老原聡一郎（A0246）、中村美春（A0328）、上田留美子（A0329）
	資格変更	10名	人見茂子（16731）、関口順子（16748）、解良知子（16752）、石川さとみ（16737）、三ツ井裕子（16749）、今野英美（16750）、奥山陽子（16751）、菊川倫子（16742）、中尾理絵（16734）、柳田泰則（16777）
6月末日	退会	4名	酒井晴永（13387）、青木義仁（16470）、櫻井範子（A0170）、佐古明美（A0230）
5月末	離籍	3名	神戸真樹子（A0056）、小林真里子（A0067）、石鉢宗男（A0077）

カレンダー (2021年8月～2021年12月)

日程	山行	イベント(講座・講演)
8/28(土)	8期初級登山教室B班「大菩薩嶺」	
9/4、11(土)	8期初級登山教室「六ツ石山」	
9/16(木)	平日山行「御正体山」	
9/18(土)～20(月)	中級登山教室「飯豊山」	
9/23(木)	安全登山講習会「メディカルハイキング」	
9/25(土)～26(日)	定例山行「谷川岳」	
10/9(土)～10(日)	中級登山教室「和名倉山」	
10/16(土)	8期初級登山教室「鷹ノ巣山」	
10/21(木)	平日山行「今倉山・二十六夜山(道志)」	
10/23(土)		事故発生時シミュレーション講習会
10/24(日)		国分寺市民祭り(支部ブース)
10/30(土)	定例山行「荒船山」	
11/13(土)	8期初級登山教室「高畑山・倉岳山」	
11/13(土)	定例山行「大室山」	
11/18(木)	平日山行「鐘ヶ嶽(丹沢)」	
11/25(木)		安全登山講演会
11/20(土)	中級登山教室「未定」	
12/3(金)		遭対本部シミュレーション講習会
12/11(土)～12(日)	定例山行「三原山(伊豆大島)」	
12/15(水)		8期初級登山教室講座
12/16(木)	平日山行「筑波山」	

コロナ禍により変更がありますので、実施の有無を確認してください

会報委員会からの お知らせ

次号46号の発行は2021年11月の予定で、原稿の締め切りは9月末です。原稿は本号の会報を参考にして書式を合わせてください。写真は500KB以上のサイズでお送りください。会報をメールに添付して配信する会員を募集していますので、お申し込みください。ttm@jac.or.jp



国分寺市民祭りに支部のブース開設

- 日時 10月24(日) 9:00～17:00
- 場所 国分寺駅ビル ココブンジ・ウエスト5階セミナールーム

支部活動や委員会の紹介、入会勧誘などをします。
会場では登山相談室、ビデオ映写、展示物などをご用意。
喫茶スペースで会員同志の懇親も深めましょう。
皆様も他にいいアイデアがあれば、お寄せください。



◆編集後記◆

コロナ禍の終息は一向に見通しがつかない状況にあります。会報もその影響を被っています。会報の頁数は38号(2019年11月)から40号(2020年5月)が24頁でした。しかしコロナ禍の2020年春以後、支部山行、登山教室が中止、個人山行も減少。その結果、今号と41号は12頁、42、43号は16頁になってしまいました。山行報告を満載した、山の組織にふさわしい会報をお届けできる日が、一日も早く来ることを切望しています。(野口いづみ)

山岳雑誌 **岳人** 毎月15日発売

山と人、時代をつなぐ山岳雑誌「岳人」

▶年間購読がおすすめです。年間購読12冊で購読割引 送料無料 限定品プレゼント 1冊分無料!

お得な価格で毎月お手元に冊子をお届けします。

価格:968円(税込)

<https://www.gakujin.jp/> ウェブ、モンベルストア、書店等にて好評発売中!

会報たま45号 2021年8月10日発行
発行所 公益社団法人日本山岳会東京多摩支部
〒188-0011 東京都西東京市田無町4-11-11
izumi_noguchi@yahoo.co.jp
会報委員会 村岡庸こ、野口いづみ、石川さとみ、川崎真琴、吉川三鈴
協力/グリーンカ工房

JIRO は国内唯一の山岳遭難対策制度™です

ハイキングから雪山登山までOK。捜索救助費用(550万円限度)に特化した会員制度です。病気遭難も対応!!

入会のお申し込みは ジローリエゾンセンター(平日10時～17時)

TEL. 03-6273-1521

www.sangakujro.com 日本山岳救助

日本山岳救助機構合同会社 Japan Rescue Organization LLC

登山用品の専門店 ☎0422・38・9234

山幸 やまこう

靴の無料診断 痛い! 当たる! 直します! 電話でご予約を

オリジナル軽登山靴 税込み ¥19,250~

武蔵境駅北口 駅前ビル2階

営業時間 (水曜定休) 11:00AM～19:00PM